

-을/를 불문하고

～を問わず

4級の -을/를 막론하고 とほぼ同じです。硬い書き言葉で、規定や案内文に現れます。

■ つけ方

語末	形	例
パッチムあり	을 불문하고	국적을 불문하고
パッチムなし	를 불문하고	이유를 불문하고
よく使う語	남녀노소・국적・분야	漢字語と組む
A와 B	와/과 를 불문하고	국내와 국외를 불문하고
名詞のみ	動詞は不可	가를 불문하고 (×)
近い形	-을/를 막론하고	ほぼ同じ

■ -을/를 막론하고 とどう違うか

例外がないことを示します。국적을 불문하고 지원할 수 있습니다 (国籍を問わず応募できます)。

막론하고 とほぼ同じで、入れ替えられる場面が多くあります。強いて言えば 불문하고 のほうが制度や規定の文脈で、막론하고 は一般的な主張でよく見られます。

漢字語と組むのが典型です。국적 (国籍)、분야 (分野)、남녀노소 (老若男女)。日本語と同じ漢字語なので、対応がわかりやすい項目です。

名詞にしかつきません。動詞には -든지 や -(으)ㄴ/는지에 관계없이 を使います。

■ 例文

- 1 이유를 불문하고 지각은 결석으로 처리됩니다.
理由を問わず、遅刻は欠席として処理されます。
- 2 국적을 불문하고 누구나 지원할 수 있습니다.
国籍を問わず、誰でも応募できます。
- 3 시기를 불문하고 언제든지 신청이 가능합니다.
時期を問わず、いつでも申請が可能です。
- 4 남녀를 불문하고 같은 기준이 적용된다.
男女を問わず、同じ基準が適用されます。
- 5 방법을 불문하고 결과만 좋으면 된다는 태도는 위험하다.
方法を問わず結果さえ良ければいいという態度は危険です。
- 6 장소를 불문하고 흡연은 금지되어 있습니다.
場所を問わず、喫煙は禁止されています。

■ 紛らわしいもの

-을/를 막론하고
ほぼ同じ意味です。불문하고 は規定の文脈でよく使われます。
국적을 불문하고 / 국적을 막론하고

-에 관계없이
「に関係なく」で、より一般的で柔らかい言い方です。
나이에 관계없이 (一般) / 국적을 불문하고 (硬い)

-든지
「～でも」で自由な選択を示します。불문하고 は例外のなさを強調します。
언제든지 (いつでも) / 시간을 불문하고 (時間を問わず)

■ まちがえやすい点

- × 가를 불문하고**
○ 가는 것과 상관없이
動詞には使えません。名詞に限ります。
- × 국적 불문하고**
○ 국적을 불문하고
을/를 が必要です。
- × 친구야, 이유를 불문하고 안 돼.**
○ 친구야, 이유가 뭐든 안 돼.
日常会話では別の言い方が自然です。